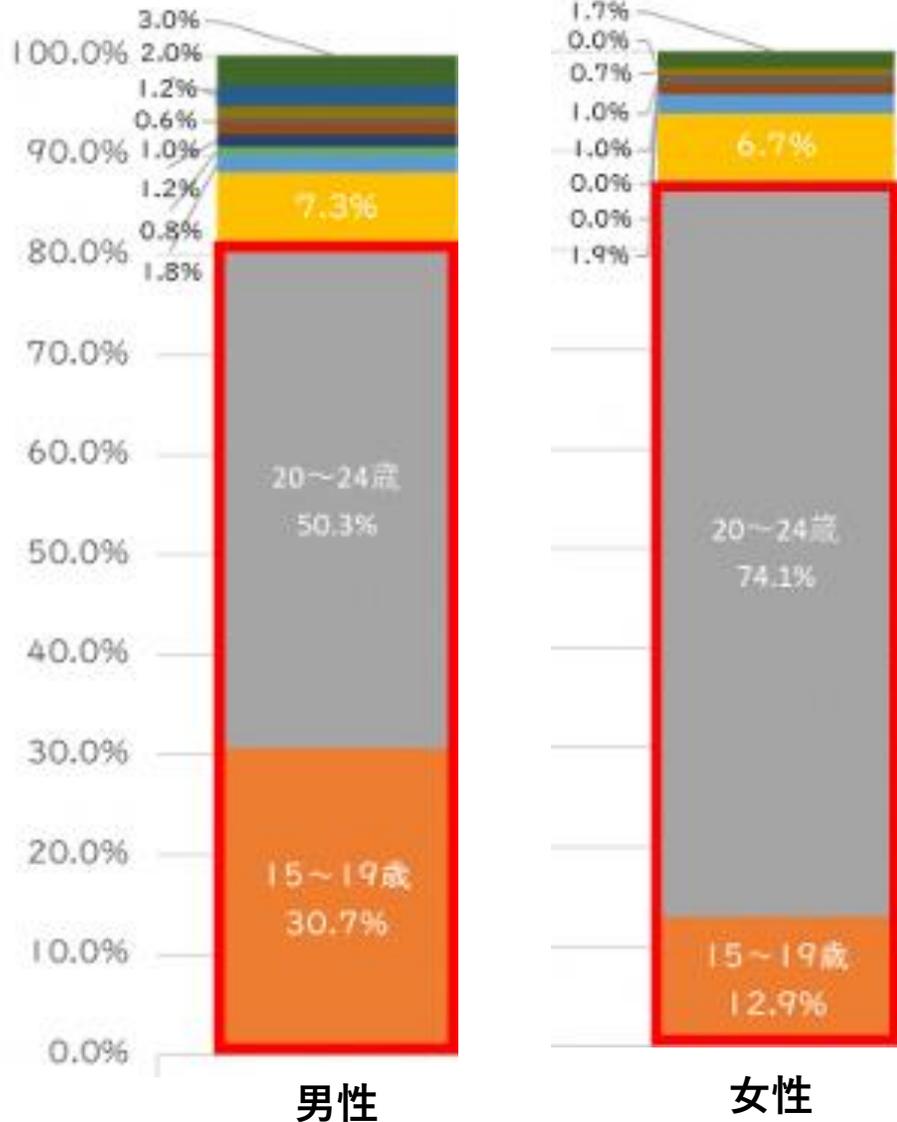


就職による県外移動者（年齢区分別、男女別）



現状

- ・就職のために県外へ出ている割合、男女ともに15～24歳の区分が全体の約8割～9割を占める

背景

- ・希望する仕事につきたいという理由が最多
- ・就きたい仕事があっても転出したという人が過半数。とにかく一度地元を離れたかったなど
- ・知識や技能を活かせる、成長できる環境がある、希望する給与・手当水準

（出典：移動理由アンケート 令和6年集計結果について（長崎県統計課））

考察した課題

- ・仕事面だけではなくプライベートも充実できる環境づくり
- ・スキルアップできる機会をつくる

提案

①Re:home Incubation

- ・空き家を改装し、シェアハウス + コワーキング + チャレンジ拠点に整備
- ・行政・大学・企業による共同運営（メンター・支援金付き）
- ・地域ごとにテーマ設定（例：農業、観光、IT、クリエイターなど）
- ・年に1度、成果を発表する「ジモチャレフェス」で横のつながりを形成

②週末アクティブパス

- ・県内のスポーツ施設、文化施設、自然体験施設、娯楽施設などを月額定額制で利用できる共通パスを提供
- ・スマートフォンで利用状況を管理できる専用アプリを導入し、利用者がどこでどのように施設を活用しているかを可視化